

少年用衣料のサイズ

Sizing systems for boys' garments

序文 この規格は、体型調査結果を分析した結果をもとに、JIS L 4002-1990 を改正するとともに、ISO 3636 (Size designation of clothes—Men's and boys' outerwear garments) 及び ISO 4415 (Size designation of clothes—Men's and boys' underwear, nightwear and shirts) に整合化を図ったものである。

1. 適用範囲 この規格は、少年用の既製衣料品のサイズ及び表示方法について規定する。

なお、サイズ及び表示方法については、**附属書**に規定する“ISO 規格に基づくサイズの表示”によってもよい。この場合のサイズの種類は、特に規定しない。

備考1. この規格の引用規格を、次に示す。

JIS L 0111 衣料のための身体用語

JIS L 0112 衣料の部分・寸法用語

JIS L 0215 繊維製品用語（衣料）

ISO 3635 : 1981 Size designation of clothes—Definitions and body measurement procedure

2. この規格の対応国際規格を、次に示す。

ISO 3636 : 1977 Size designation of clothes—Men's and boys' outerwear garments

ISO 4415 : 1981 Size designation of clothes—Men's and boys' underwear, nightwear and shirts

2. 用語の定義 この規格で用いる主な用語の定義は、JIS L 0111、JIS L 0112 及び JIS L 0215 によるほか、次のとおりとする。

(1) **少年** 身長が成長が止まっていない乳幼児以外の男子。

(2) **既製衣料品** 付表 1 に示す衣服。

(3) **既製衣料品のサイズ** 既製衣料品の全体としての大きさ。基本身体寸法で表す。

(4) **基本身体寸法** 既製衣料品のサイズの基礎となる身体部位の寸法。既製衣料品のサイズとしてセンチメートル単位で表す。

3. 着用区分 既製衣料品は、着用の仕方によって、次のとおり区分する。

(1) **全身用** 主として、全身に着用する既製衣料品。

(2) **上半身用** 主として、上半身に着用する既製衣料品。

(3) **下半身用** 主として、下半身に着用する既製衣料品。

4. 基本身体寸法 この規格で用いる基本身体寸法は、身長、胸囲及び胴囲とする。

備考 胸囲及び胴囲は、チェスト及びウエストとしてもよい。

5. **サイズの表し方の種類** サイズの表し方の種類は、次のとおりとする。

- (1) 体型区分表示
- (2) 単数表示
- (3) 範囲表示

6. 体型区分表示

6.1 **体型区分** 体型の区分は、表 1 のとおりとする。

表 1 体型区分

体型	意味
A 体型	日本人の少年の身長を 90cm から 185cm の範囲内で、10cm 間隔で区分したとき、身長と胸囲又は胴囲の出現率が高い胸囲又は胴囲で示される少年の体型。
Y 体型	A 体型より胸囲 ⁽¹⁾ 又は胴囲が 6cm 小さい人の体型。
B 体型	A 体型より胸囲又は胴囲が 6cm 大きい人の体型。
E 体型	A 体型より胸囲又は胴囲が 12cm 大きい人の体型。

注⁽¹⁾ この規格でいう胸囲とは、乳頭位胸囲である。

6.2 **サイズの種類と呼び方** 体型区分別のサイズの種類と呼び方は、表 2-1～表 5-3 のとおりとする。

表 2-1 A 体型（身長及び胸囲）

単位 cm

呼び方		90A	100A	110A	120A	130A	140A	150A	160A	170A	180A
基本身体寸法	身長	90	100	110	120	130	140	150	160	170	180
	胸囲	48	52	56	60	64	68	74	80	86	92

表 2-2 A 体型（身長及び胸囲）

単位 cm

呼び方		95A	105A	115A	125A	135A	145A	155A	165A	175A	185A
基本身体寸法	身長	95	105	115	125	135	145	155	165	175	185
	胸囲	50	54	58	62	66	71	77	83	89	95

表 2-3 A 体型（身長及び胴囲）

単位 cm

呼び方		90A	100A	110A	120A	130A	140A	150A	160A	170A	180A
基本身体寸法	身長	90	100	110	120	130	140	150	160	170	180
	胴囲	48	50	52	54	56	58	62	66	70	74

表 2-4 A 体型（身長及び胴囲）

単位 cm

呼び方		95A	105A	115A	125A	135A	145A	155A	165A	175A	185A
基本身体寸法	身長	95	105	115	125	135	145	155	165	175	185
	胴囲	49	51	53	55	57	60	64	68	72	76

表 3-1 Y 体型（身長及び胸囲）

単位 cm

呼び方		120Y	130Y	140Y	150Y	160Y	170Y	180Y
基本身体寸法	身長	120	130	140	150	160	170	180
	胸囲	54	58	62	68	74	80	86

表 3-2 Y 体型（身長及び胸囲）

		単位 cm						
呼び方		120Y	130Y	140Y	150Y	160Y	170Y	180Y
基本身体寸法	身長	120	130	140	150	160	170	180
	胸囲	48	50	52	56	60	64	68

表 4-1 B 体型（身長及び胸囲）

		単位 cm						
呼び方		120B	130B	140B	150B	160B	170B	180B
基本身体寸法	身長	120	130	140	150	160	170	180
	胸囲	66	70	74	80	86	92	98

表 4-2 B 体型（身長及び胸囲）

		単位 cm						
呼び方		120B	130B	140B	150B	160B	170B	180B
基本身体寸法	身長	120	130	140	150	160	170	180
	胸囲	60	62	64	68	72	76	80

表 5-1 E 体型（身長及び胸囲）

		単位 cm				
呼び方		130E	140E	150E	160E	170E
基本身体寸法	身長	130	140	150	160	170
	胸囲	76	80	86	92	98

表 5-2 E 体型（身長及び胸囲）

		単位 cm				
呼び方		130E	140E	150E	160E	170E
基本身体寸法	身長	130	140	150	160	170
	胸囲	68	70	74	78	82

備考 身長に対して胸囲が著しく大きなものが必要な場合には、特例として、次の表 5-3 を適用することができる。ただし、この場合対応する身長を範囲で表示する。

表 5-3 E 体型（胸囲）

		単位 cm						
基本身体寸法	胸囲	73	76	79	82	85	88	91

表示例 身長 145～155
胸囲 76

7. **単数表示** 単数表示は、表 6-1 及び表 6-2 のとおりとする。

表 6-1 単数表示（胸囲）

		単位 cm									
呼び方		90	100	110	120	130	140	150	160	170	180
基本身体寸法	胸囲	48	52	56	60	64	68	74	80	86	92

表 6-2 単数表示（胸囲）

		単位 cm									
呼び方		95	105	115	125	135	145	155	165	175	185
基本身体寸法	胸囲	50	54	58	62	66	71	77	83	89	95

8. 範囲表示 範囲表示は、表 7 のとおりとする。

表 7 範囲表示

		単位 cm					
呼び方		90	100	110	120	130	140
基本身体寸法	身長	85～95	95～105	105～115	115～125	125～135	135～145
	胸囲	45～51	49～ 55	53～ 59	57～ 63	61～ 67	65～ 72
	胴囲	45～51	47～ 53	49～ 55	51～ 57	53～ 59	54～ 62
		150	160	170	180		
基本身体寸法	身長	145～155	155～165	165～175	175～185		
	胸囲	70～ 78	76～ 84	82～ 90	88～ 96		
	胴囲	58～ 66	62～ 70	66～ 74	70～ 78		

9. 服種別及び着用区分ごとのサイズの表示方法

9.1 基本身体寸法の表示 既製衣料品のサイズは、次の(1)又は(2)に示す方法によって表示する。

基本身体寸法については、付表 1 の左欄に掲げる品目及び着用区分ごとに、同表の右欄に示す基本身体寸法を同表の中央欄に示された方法によって表示する。

備考1. 表2-1～表7に基づかない任意のサイズを表示する場合は、基本身体寸法においては範囲表示とし、その着用できる範囲を示さなければならない。

2. 基本身体寸法を表示する場合、単位を示す cm の文字は、省略することができる。

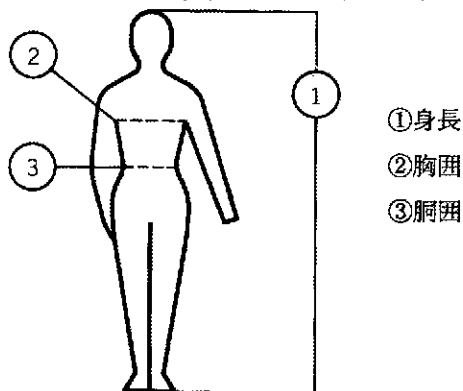
(1) サイズ絵表示（ピクトグラム）による方法 サイズ絵表示による表示方法は、図 1 に示す図柄を用い、次のとおりとする。

図 2 に示すように基本身体寸法の位置及びその数値を表示する欄を、身長については図の右側に、胸囲及び胴囲は、図の左側に示し、その欄に数値を表示する [付図 1 の(1.1)参照]。

図 1 サイズ絵表示



図 2 サイズ絵表示による表示方法



備考1. 図の大きさは、任意の見やすい大きさとする。

2. 数値を示す欄は、原則として枠で囲む。ただし、これを省略することができる。

(2) 寸法列記による方法 “サイズ”、“SIZE”などの文字を用いて、これに基本身体寸法の名称及びその数値を併記して表示する。この場合基本身体寸法の表示順位は、原則として付表 1 の右欄に掲げられた順位によることとし、上から下、又は左から右の順に表示する。

備考 上衣とズボンなど、二つ以上の品目が一そろいとして販売される既製衣料品について、それぞれ

れの品目に表示する基本身体寸法を、そのいずれかの品目に一括して表示することができる。

9.2 基本身体寸法の表示 9.1による表示をした場合に限り、その他の身体部位又は衣料部位のサイズを表示することができる。ただし、この場合は、9.1による表示と区別して表示する。

9.3 記号の表示 9.1による表示が、この規格の各表に示された数値である場合に限り、それらの数値に対応して規定された呼び方としての記号を付記することができる。ただし、この場合、9.1又は9.2による表示と区別して表示する〔付図1の(1.1)、(2.1)など参照〕。

備考1. 表2-1～表7に基づかない任意のサイズを表示する場合は、この呼び方の記号及びこれらと紛らわしい記号は使用してはならない。

2. 呼び方の記号だけによるサイズの表示は、してはならない。

10. 表示票 9による表示は、表示票(?)に表示者の氏名又は名称を付記し、見やすい箇所に見やすいように表示する。

なお、表示票に9による表示を行った場合に限り、表示票以外に表示を行う場合には、呼び方の記号だけを表示してもよい。

注(?) 下げ札、包装などをいう。

11. 表示の適合性 表示された数値が、次の場合には、それぞれに規定する適合性をもつものとする。

表示された数値が基本身体寸法である場合の着用範囲は、次のとおりとする。

(1) 表示された数値が体型区分表示又は単数表示である場合には、当該既製衣料品は、次の範囲の着用者に適正に着用できなければならない。

$$\left(\text{表示値} - \frac{\left| \text{表示値} - \text{この規格の表中の表示値に最も近い値の小さい数値又は最も近い値の大きい数値} \right|}{2} \right) \text{から}$$

$$\left(\text{表示値} + \frac{\left| \text{表示値} - \text{この規格の表中の表示値に最も近い値の小さい数値又は最も近い値の大きい数値} \right|}{2} \right) \text{まで}$$

備考 上記の式の括弧の中の右側は、ピッチの $\frac{1}{2}$ である。

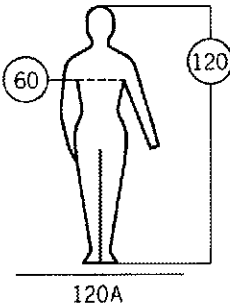
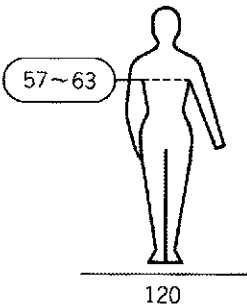
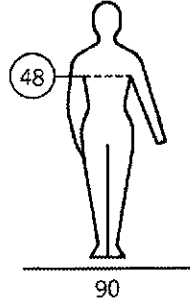
(2) 表示された数値が範囲表示である場合には、当該既製衣料品は、その範囲の着用者に適正に着用できなければならない。

付表 1 服種別サイズの表し方

服種及び着用区分		サイズの表し方	基本身体寸法の表示順位	
			1	2
コート類	フィット性を必要とするもの	表 2-1, 表 2-2, 表 3-1, 表 4-1, 表 5-1	身長	胸囲
	フィット性をあまり必要としないもの	表 7	身長	—
上衣類	フィット性を必要とするもの	表 2-1, 表 2-2, 表 3-1, 表 4-1, 表 5-1	身長	胸囲
	フィット性をあまり必要としないもの	表 7	胸囲	—
ズボン類 (^①)	フィット性を必要とするもの	表 2-3, 表 2-4, 表 3-2, 表 4-2, 表 5-2, 表 5-3	身長	胸囲
	フィット性をあまり必要としないもの	表 7		
セータ・カーディガン及びジャケット類		表 7	胸囲	—
シャツ類	フィット性を必要とするもの	表 6-1, 表 6-2	胸囲	—
	フィット性をあまり必要としないもの	表 7		
オーバーオール, ロンパース類		表 7	身長	—
寝衣類		表 7	身長	—
下着類	全身用	表 7	身長	—
	上半身用	表 7	胸囲	—
	下半身用	表 7	胸囲	—
水着類		表 7	胸囲	—

注(^①) 運動用のズボンなどについては, 胸囲を省略することができる。

付図 1 少年用衣料の主な表示例

(1) サイズ絵表示による方法	(2) 寸法列記による方法
(1.1)  120A	(2.1) サイズ 身長 120 胸 囲 60 120A (フィット性 を必要とする 上衣類の表示)
(1.2)  120	(2.2) サイズ 胸 囲 57~63 120 (セータ類の表示)
(1.3)  90	(2.3) サイズ 胸 囲 48 90 (フィット性 を必要とする シャツ類の表示)

附属書 ISO 規格に基づくサイズの表示

1. 適用範囲 この規格は、ISO 3636 及び ISO 4415 に基づいて、少年用衣料を次のとおり分類してサイズ表示システムを規定したものである。

- (1) 上半身用
- (2) 全身用
- (3) 下半身用

2. 引用規格 この規格は、次の国際規格と一緒に読む必要がある。

ISO 3635 衣料品のサイズの表示－定義と身体測定手順

3. 用語の定義 この規格で用いる定義は、ISO 3636 によるほか、次のとおりとする。

少年 身長が成長がまだ止まっていない男子。

4. 基本身体寸法 基本身体寸法は、附属書表 1 及び附属書表 2 のとおりとする。

附属書表 1 上半身用、全身用及び下半身用の外衣

衣服の種類		基本身体寸法
上半身用又は全身用	ニットウェア以外のもの	(1) 身長 (2) ヒップ (3) チェスト
	ニットウェア	(1) チェスト (2) 身長
下半身用	水着以外のもの	(1) 身長 (2) ヒップ (3) ウエスト
	水着	ウエスト

附属書表 2 上半身用、全身用及び下半身用の下着、寝衣及びシャツ

衣服の種類		基本身体寸法
上半身用	フォーマルシャツ及びユニホームシャツ以外のもの	(1) チェスト (2) 身長
	フォーマルシャツ及びユニホームシャツ	(1) けい（頸）囲 (2) 腕の長さ
全身用		(1) チェスト (2) 身長
下半身用		(1) ウエスト (2) 身長

5. サイズの表示 サイズの表示は、次のとおりとする。

- (1) それぞれの衣料の表示は、その衣料の基本身体寸法によって cm の単位で表す（4.参照）。実際に使用

するときは、ISO 3636 で示す絵表示にサイズの表示を示して用いる（6.4 参照）。絵表示を使用しないときは、4.に示した身長、チェストなどの用語と一緒に基本身体寸法の数値を書き、4.に示した順序に並べる。

なお、次のように表示してもよいし、規格本体によって規定された表示方法によってもよい。

- (a) 一つ又は二つの適切な基本身体寸法によるサイズの表示。
 - (b) 基本身体寸法を最小値と最大値の範囲で示したサイズの表示。最小値と最大値は、斜めの線又はハイフンで分離して表す。
- (2) 衣料の寸法は、サイズの表示と一緒にできない。ただし、サイズの表示と分離して表示することができる（6.3 参照）。

6. ラベル付け

6.1 方法 それぞれの衣服のサイズの表示は、ラベル若しくは下げ札又は両方に明りょうに、目立つように、かつ、簡素に読みやすく示す必要がある。絵表示は、その場で理解できる十分な大きさで、数字はいかなる場合にも容易に読み取れなくてはならない。

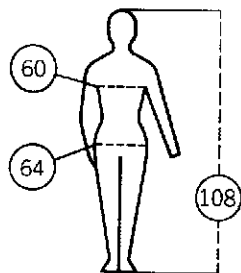
6.2 取付け ラベル又は下げ札は、衣料に確実に、そして読み取りやすい場所に取り付けなければならない。

6.3 追加の情報 サイズの表示に関連する追加の情報は、サイズ表示が見やすい状態であれば、ラベル若しくは下げ札又は両方にサイズの表示と分けて表示できる。このような追加の情報には、サイズのコード番号、基本身体寸法又は衣料寸法がある。

6.4 ラベルの例 附属書図 1 及び附属書図 2 に示したラベルの例は、関係する基本身体寸法を簡単に指示したものに並べて、衣料寸法、サイズのコード番号のような追加情報を加え、より丁寧な形にしてラベルの記載方法を図示したものである。図示したように、基本身体寸法と分離して表示した追加情報のサイズのコード番号は、ある国又は限られたグループの人々にだけ採用されたサイズ表示システムの一部であることが容易に認識できる。

なお、サイズを文字で表示する場合は、英語で差し支えないが、日本語も併記することが望ましい。

附属書図 1 外衣
(1) スーツ



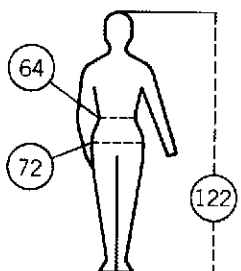
又は

HEIGHT	108
HIP GIRTH	64
CHEST GIRTH	60

若しくは

身長	108
ヒップ	64
チェスト	60

(2) パンツ



又は

HEIGHT	122
HIP GIRTH	72
WAIST GIRTH	64
INSIDE LEG LENGTH	58

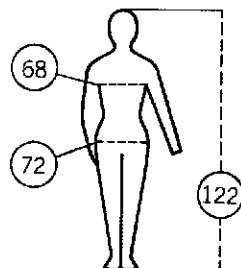
若しくは

身長	122
ヒップ	72
ウエスト	64
またの高さ	58

(¹)

注(¹) 6.3に従った追加情報の例

(3) ジャケット



又は

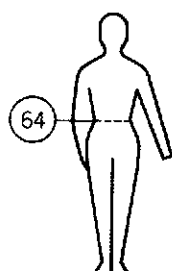
HEIGHT	122
HIP GIRTH	72
CHEST GIRTH	68
SIZE CODE	122

若しくは

身長	122
ヒップ	72
チェスト	68
サイズコード	122

(¹)

(4) 水泳パンツ



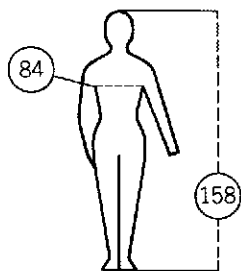
又は

WAIST	64
-------	----

若しくは

ウエスト	64
------	----

(5) プルオーバー



又は

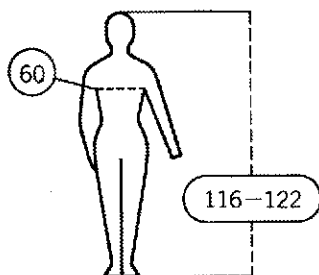
CHEST	84
HEIGHT	158

若しくは

チェスト	84
身長	158

附属書図2 下着、寝衣、シャツ

(1) Tシャツ



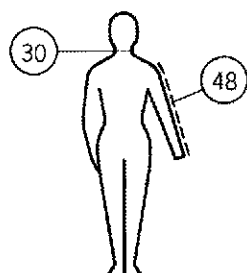
又は

CHEST GIRTH	60
HEIGHT	116-122

若しくは

チェスト	60
身長	116-122

(2) スクールシャツ



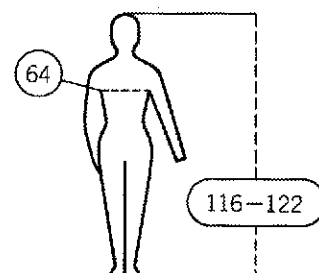
又は

NECK GIRTH	30
ARM LENGTH	48

若しくは

けい(頸)囲	30
腕の長さ	48

(3) パジャマ



又は

CHEST GIRTH	64
HEIGHT	116-122
SIZE	5

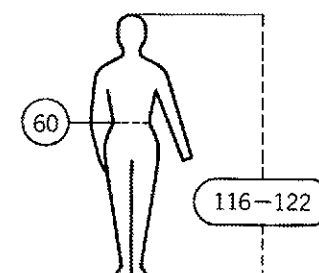
若しくは

チェスト	64
身長	116-122
サイズ	5

(1)

注(1) 6.3に従った追加情報の例

(4) アンダーパンツ



又は

HEIGHT	116-122
WAIST GIRTH	60

若しくは

身長	116-122
ウエスト	60

消費生活部会 少年用既成衣料品専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	清水 二郎	山形県立産業技術短期大学校
	三吉 満智子	文化女子大学
	塚越 秀也	杉野女子大学短期大学部
	二宮 玲子	日本女子大学
	樋口 ゆき子	日本女子大学
	野中 哲昌	通商産業省生活産業局
	生田 章一	通商産業省生活産業局繊維製品課
	西出 徹雄	工業技術院標準部消費生活規格課
	高橋 孝一	製品評価技術センター
	桂田 良一	財団法人日本繊維製品卸検査協会
	宮原 典弘	財団法人日本繊維製品品質技術センター
	市川 駿	財団法人日本アパレル産業協会
	茨木 裕一	社団法人人間生活工学研究センター
	幾原 敏行	繊維産業構造改善事業協会
	河野 直喜	全日本婦人子供服工業組合連合会
	小代田 寛之	日本ニット工業組合連合会
	鈴木 和明	佐伯行盛株式会社
	小野里 喜八郎	日本布帛製品工業組合連合会
	古川 元彦	日本化学繊維協会
	出崎 清一	日本校服工業組合連合会
	花井 芳喜代	婦人服専門店協会
	山本 宏	日本繊維輸入組合
	川端 龍義	JIS 衣料サイズ推進協議会
	川又 幸子	全国地域婦人団体連絡協議会
	吉岡 初子	主婦連合会
	関澤 七重	財団法人日本消費者協会
	田中 雅子	消費科学連合会
	遠山 美知子	国民生活センター
	青山 理恵子	消費生活アドバイザー・コンサルタント協会
	川又 輝長	社団法人日本スポーツ用品工業協会
	齋藤 有常	日本百貨店協会
	森 充	日本繊維物中央卸商業組合連合会
	鈴木 はるみ	日本チェーンストア協会
	小池 進	社団法人日本通信販売協会
(事務局)	渡辺 武夫	工業技術院標準部消費生活規格課
	山田 高行	工業技術院標準部消費生活規格課